

猪苗代湖

約 4 万 2000 年前形成

福大、掘削調査で判明

福島大が昨秋から実施している猪苗代湖の掘削調査で、湖が形成された年代が約四万



調査の結果について説明する長橋教授

二千年前とみられることが分かった。六日、福島大の記者会見で長橋良隆共生システム理工学類教授が発表した。

猪苗代湖は陸上の地質調査などにより約四万五千年前に湖北西側で起きた岩層雪崩で形成されたとされている。今回、専用船で猪苗代湖最深部の水深九〇㍎の湖底をボーリングし、二十七㍎の厚さの粘土状の堆積物を採取した。湖底特有の堆積物が残る最も低い部分を分析したところ、放射性炭素の年代測定

により約四万二千年前であることが分かった。

また、湖底の粘土状の堆積物は、国内の湖では珍しい黒と白の部分が交互に並び、鉄の含有量に違いがあることが分かった。長橋教授は「湖底から猪苗代湖が成立した年代をあらためて確認できた。今後も堆積物を基に、猪苗代湖とその周辺の環境変化を詳細に分析したい」と語った。